

日本、そして世界で活躍する、SFCの卒業生たち。

Career 1 大木 洵人 Junto Ohki | シュアールグループ 代表 | 環境情報学部 2011年卒

手話の世界をITで広げていく。 SFCだから実現できたビジネスです。

「技術を聴覚障がい者のために～Tech for the Deaf～」をスローガンに、ITを活用した手話ビジネスを展開しているシュアールグループの代表を務めています。中学生で手話を見て感動し、SFCでの手話サークルの創設や、手話のPodcastの制作を通して聴覚障がい者を取り巻く様々な問題を実感。2年次には手話に関わるサービスを扱う当社を立ち上げ、昨年で創業5周年を迎えました。SFCで学んだことは数知れず、全てがビジネスにつながっています。例えば、私たちの4つある基幹サービスのうち、テレビ電話を介した「遠隔手話通訳」とクラウド型オンライン手話辞典の「スリント辞書」はSFC

の授業で考えた最終課題がベースです。実社会の問題研究を行っているSFCだからこそできるのだと思います。また先生との距離も近く、悩んだときには相談にのってくださいました。この事業を立ち上げる際には、國領先生から「これはインフラになるビジネスだから、途中で辞めては絶対ダメだ。本当にやりすぎる覚悟はあるのか」という熱いメッセージをいただきました。こうやって会社を続けられたのも、あの言葉のおかげだと思っています。「耳が聞こえない」がために、夢や目標を諦めることのない社会にするために、今後は日本から新たなサービスを世界に発信し続けていきます。



卒業後のキャリア
2008年11月 シュアールグループ創業
2009年11月 株式会社シュアール設立
2010年4月 特定非営利活動法人シュアール設立 理事長に就任
2011年3月 環境情報学部卒業
2012年1月 アショカ・フェロー選出(東アジア初)
2012年12月 フォーブス30Under30 2013 (社会起業家)に選出

Career 2 藤島 皓介 Kosuke Fujishima | NASA エイムズ研究所 研究員 | 環境情報学部 2005年卒

宇宙へのロマンを求めて、めざしたNASA。 夢は叶えられることをSFCで学びました。

アメリカのNASA エイムズ研究所では、宇宙における生命の起源と進化、分布、そして未来を考える「アストロバイオロジー(宇宙生物学)」という学問分野を研究しています。生物学を研究している者なら、誰も一度は解明してみたい「私たち生命はどこから来たのか」というテーマについて取り組んでいます。NASAでの研究は「コンピュータ上で遺伝子をデザインし、実験を通じて機能を確認する」という一連の作業をひとりで実行する必要がありますが、SFCではこうした“実験のスキル”や“コンピュータのプログラミング技術”をさまざまな研究を通して修得することができます。また1

年次から研究会に所属して、1つの分野を深く掘り下げて研究できるのも大きなアドバンテージです。研究成果を国際学会で発表するチャンスが与えられ、学生のうちに海外の研究者からアドバイスをいただくこともできます。この他にも、鶴岡市にある慶應の先端生命科学研究所で、1年間にわたる最先端のバイオ実験実習の経験が可能。現在、私は火星などに人類が移住する際に利用できる有用微生物の作成も行っており、いずれは宇宙探査ミッションに携わりたいと思っています。夢は見るものではなく叶えるもの。SFCなら、きっとあなたの夢を実現できると信じています。



卒業後のキャリア
2005年3月 環境情報学部卒業
2009年3月 大学院博士課程早期修了
2009年4月 先端生命科学研究所 所員
2011年6月 日本学術振興会 海外特別研究員 (NASA Ames)を経て、2013年より現職

Career 3 坪内 南 Minami Tsubouchi | 一般財団法人教育支援グローバル基金 理事・事務局長 | 総合政策学部 2000年卒

SFCの講義でとてつもなく衝撃を受けた言葉が、 その後の人生の原動力になっている。

中学3年の頃、単身カナダへ留学しました。大学進学のために日本に帰国しましたが、SFCを知る方から海外の大学に近い環境という助言をいただき、調べてみると学際的な視点で学べることに魅力を感じて、受験しました。幅広い領域で学びを深められることに魅力を感じ、部活やサークルよりも勉学に励む大学生活でした。そんなある日、衝撃的な出来事があったのです。大学3年の時、ある教授が講義の際にアジア地域の反政府ゲリラが拷問を受けている写真を私たちに見せました。教授は「君たちは世界的に見れば、非常に恵まれていて一握りのエリートだ」と語り、「社会のために行動する義務と責任がある」と続けまし

た。カナダの高校ではクロアチア、パレスチナといった紛争地域出身の学友がいて、私自身、世界の諸問題に対する意識も持っていました。それが大学生になり、問題意識が薄らいでいたのです。私は何をしてたんだ！と自分自身に怒りも覚えました。卒業後、ダボス会議事務局やパーレーン経済開発委員会などで仕事をすることになったのも、その講義での教授の言葉が私を突き動かしていたのです。現在、世界のために活躍できるリーダーの育成を目的として「ビヨンドトゥモロー」を運営しているのも、SFCでのあの日の強烈な印象が原動力になっているのだと思います。



卒業後のキャリア
2000年4月 マッキンゼー・アンド・カンパニー入社
2000年9月 総合政策学部卒業
2002年4月 難民を助ける会入社
2006年6月 マサチューセッツ工科大学修士課程修了
2006年7月 世界経済フォーラム (ダボス会議事務局) 所属
2010年7月 パーレーン経済開発委員会所属
2011年6月 ビヨンドトゥモロー設立

奨学金制度

→ <http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shogaku/prosstud.html>

本学には、日本学生支援機構奨学金や100以上に及ぶ地方公共団体・民間団体奨学金のほか、本学独自の「慶應義塾大学給費奨学金」や卒業生からの支援を基にした20以上に及ぶ「指定寄付奨学金」等、経済状況・家計急変、地方の学生向けなどの学生のニーズに対応する約190種類のさまざまな

奨学金が用意されています。本学独自の奨学金はすべて返済の必要がない給付の奨学金です。2012年度からは、一般入試試験前予約型・地域ブロック採用型奨学金「学問のすゝめ奨学金」がスタートしました。

慶應義塾大学教育ローン制度について 奨学金以外の経済支援制度として、金融機関4行と提携した「慶應義塾大学教育ローン制度」があります。

SFC学生向けの奨学金募集の詳細はこちらのサイトに掲載しています。 <http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/scholarship/>

実施の有無は募集時期・金額等の詳細は年度によって異なる場合があります。詳細についてはWebサイトにてご確認ください。

SFC独自の助成制度

→ <http://www.gakuji.keio.ac.jp/sfc/research/>

SFCではキャンパス独自に多種多様な助成制度を設けて学生の学習・研究活動を支援しています。この独自の助成制度は、いわゆる大学が募集している奨学金とは選考方法が異なり、申請書・企画書・活動計画書の他、選考に際しては企画のプレゼンテーションを重視するプログラムです。企

画はそれぞれの助成制度で、研究会でのプロジェクト活動から国内外のフィールドワーク、課外活動、ボランティア活動まで、学生の幅広い独創的な「問題発見解決型」活動を受け付けています。

■ 湘南藤沢キャンパス教育奨励基金による『学習・研究奨励金』

学生個人または団体による研究計画に対して必要な資金の補助を行います。

■ SFC海外フィールドワーク助成制度

海外にてフィールドワークを行う学生のための研究助成です。選考を通過し、対象科目を履修、フィールドワーク活動を行った学生に助成します。(2013年度は募集なし)

■ SFC政策研究支援機構による研究助成

学生有志または研究プロジェクトの企画に対して、フィールドワーク調査費を助成します。

■ SFC・イカイ中国研究助成制度

株式会社イカイのご厚意により、中国においてフィールドワークを行う学部生のための研究助成です。選考を通過し、対象科目を履修し、フィールドワーク活動を行った学生に助成します。

■ 山岸学生プロジェクト支援制度

グリー株式会社山岸広太郎氏のご厚意により、世の中にインパクトを与える卒業プロジェクトを支援する制度です。

実施の有無や募集時期・金額等の詳細は、年度によって異なる場合があります。詳細については、Webサイトにてご確認ください。

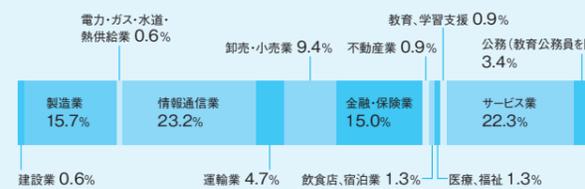
卒業後の進路

2012年度 卒業生就職状況・主な就職先(公務員含む)

SFCの卒業生はその問題解決能力を活かし、様々な分野で活躍しています。もちろん一般企業においても高い就職率を誇ります。IT、語学力に長けた学生が多いことから情報通信産業に強い傾向がありますが、商社や金融、メーカー等へ就職する学生も多数います。

総合政策学部

就職者数：319名 進学者数：38名



人数	会社名
8	三菱東京UFJ銀行
	アクセンチュア
6	ソフトバンクグループ
	楽天
5	大和証券
	日本放送協会
	グリー
	サイバーエージェント
4	電通
	野村證券
	ワークスアプリケーションズ
3	九州旅客鉄道
	ディー・エヌ・エー
	東京海上日動火災保険
	日本生命保険
	パナソニック
	東日本電信電話
	富士通
3	みずほフィナンシャルグループ
	三井住友銀行
	三菱商事
	LIXIL
2	リクルートホールディングス
	外務省
	川崎重工業
2	JTB 法人東京
	静岡銀行
	JALスカイ
	ジュビターテレコム
	税理士法人トーマツ
	全日本空輸
	テロト・マツ コンサルティング
	東京都
	日本テレビ放送網
	日本ロレアル
	博報堂
	日立システムズ
	ベネッセコーポレーション
	三越伊勢丹ホールディングス
	三菱電機
	三菱UFJ信託銀行
	リクルートキャリア

環境情報学部

就職者数：302名 進学者数：50名



人数	会社名
6	みずほフィナンシャルグループ
	ソフトバンクグループ
5	日立製作所
	楽天
4	三井住友銀行
	ヤフー
	アクセンチュア
	エヌ・ティ・ティ・データ
	グリー
	サイバーエージェント
3	全日本空輸
	ディー・エヌ・エー
	日テレアクセス
	日本電気
3	野村総合研究所
	三菱商事
	リクルートホールディングス
	インフィニティ・インフォメーション
	エイチ・アイ・エス
	エヌ・ティ・ティ・ドコモ
	オンワード樺山
	カプコン
2	キャノンITソリューションズ
	KDDI
	サントリーホールディングス
	住友不動産販売
	西日本電信電話
	日本アイ・ビー・エム
	日本生命保険
	日本テレビ放送網
	日本放送協会
	日本マイクロソフト
	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン
	ベストプライダル
	本田技研工業
	三井住友海上火災保険
	三井住友信託銀行
	三井不動産リアルティ
	三菱東京UFJ銀行
	ヤマト運輸
	横浜国立大学
	リヴァンプ

他、2名就職した企業2社